

灸道湖

第193号

2023年4月



桜の木の下で

もくじ

就任のご挨拶	2
副院長に就任して	3
教育研修部コラム “「ふるとぶる」”	4
医師紹介	5
異動者紹介	5 ～ 6
人生会議の大切さについて ～もしバナゲームを体験して感じたこと～	7

新人紹介	8
春まつり会	9
人事異動	10
地域医療連携室だより	11
外来診療表	12



就任のご挨拶

院長 古和久典

2023年4月1日付で国立病院機構松江医療センターの院長を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。はじめに簡単な自己紹介をさせていただきます。私は1989（平成元）年に鳥取大学医学部を卒業し、高橋和郎先生（元鳥取大学学長）、次いで中島健二先生（鳥取大学名誉教授、国立病院機構松江医療センター名誉院長）が主宰されていまして鳥取大学医学部脳幹性疾患研究施設脳神経内科部門（現在の医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野）に入局いたしました。臨床医として脳血管障がい、神経変性疾患、神経感染症、慢性頭痛等の神経疾患全般の診療指導を受けました。その間には松江赤十字病院で多くの臨床経験を積ませて頂きました。2000年～2001年にかけて文部省在外研究員としてオランダ国ライデン大学で片頭痛の遺伝子研究について学ぶ機会を頂きました。留学から鳥取大学に復職後は、脳血管障がいや慢性頭痛診療、鳥取県難病医療連絡協議会および難病相談支援センター業務、鳥取県西部医師会の先生方と「鳥取県西部地区脳卒中地域連携パス」の立ち上げと運営管理などに関わらせて頂きました。2017年6月より中島健二先生が院長をされていた当院で診療部長を拝命し、リハビリテーションなど当院の強みを生かした神経難病診療を進め、2020年4月より院長に就任された井岸正先生のもとで副院長として脳神経内科診療とともに医療安全や地域連携の室長を務めておりました。

さて、COVID-19感染症によるコロナ禍は2020年を境に私たちの生活に大きな変化をもたらしました。未知の感染症に対する恐怖は、医療関係者やその家族への心無い言葉かけなど風当たりも大変強かったようにいわれています。その対策として

県や地域によっては、実際に診療している医療機関名を公表しない時期もありました。本来であれば病院に受診すべき疾患であっても来院することを控え、そのために重症化や難治な病状を招いたという話も伺いました。インフルエンザのような有効な治療薬がなかなか得られない中で、ワクチン接種に対する期待も高まり、その接種の順番が社会的な問題になったこともありました。さらに、COVID-19感染そのものや感染を契機に基礎疾患が悪化し、命を落とされる方が少なくなかったことも事実として受け止めなければいけません。当院を含めた多くの医療機関では、感染予防のために職員の皆さんに行動自粛をお願いしてきました。また、患者さんやそのご家族の皆さんには、集会や行事、日常の面会や外出・外泊を禁止あるいは制限しており、大変なご心労をおかけしていることと心苦しく思っています。ご協力にあらためまして感謝申し上げます。

3年という月日の中でコロナの大きな流行を複数回経験し、対応や予防対策に関する経験的知識は増え、当初の恐怖感は薄まったようにも感じられます。無観客開催であった東京オリンピック・パラリンピック2020（開催は2021年夏）を思い出しますと、本年3月に開催され日本チームが大活躍しましたWBC2023観戦や応援の様子は隔世の感を禁じえません。2023年春を迎えるにつれて患者数は減少傾向の様相を示し、5月8日の新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に移行することは決まっていますが、感染予防が全く不要になったわけではありません。COVID-19に対する医療機関としての役割はすぐ変わるものではないと思っています。この3年間、副院長として実感

してきましたコロナ禍における種々の病院対応の難しさを考えますと、院長の責任の重大さに身の引き締まる思いです。

2023年度は、COVID-19に対する対応に配慮しながら、2019年までの通常診療を取り戻していく努力をすべく大切な1年です。全職員が一丸となってこの課題に取り組んでいきたいと考えています。

皆様のご指導・ご協力を頂きながら、病院のさらなる発展と地域医療へ貢献できますよう全力を尽くして参ります。これまで以上のご支援をお願い申し上げます。



副院長に就任して

副院長 池田 敏和

このたび、副院長という大役を拝命いたしました。平成16年4月に国立療養所松江病院内科医長として着任し、平成22年6月より統括診療部長として診療業務を中心に歩んでまいりました。この約20年間に、独立行政法人化、新病棟・新外来棟の新築や電子カルテの導入と大きな変革がありました。今後は、副院長として病院全体のかじ取りについて行うこととなります。率直に申しまして、責任の重さに対する不安が大きいというのが、正直なところです。

当院は呼吸器一般・結核、重心、筋ジス、神経難病を中心に政策医療を行っている病院です。重症心身障がい医療ならびに筋ジス医療は、社会のセーフティ・ネットとしての役割を果たしてきました。神経難病医療は、県の難病拠点病院として筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病等の難病に対して専門的治療を行ってきました。更に、結核医療では、結核医療の専門病院として指導的立場で診療してきました。しかしながら、令和5年4月より、医師の退職に伴い全身麻酔を伴う呼吸器外科手術を中止せざるを得なくなったことは地域

医療に対する影響は大きく残念な気持ちでいっぱいです。手術に対する制限はありますが、呼吸器内科および呼吸器外科はこれまでの診療を継続し地域医療に貢献したいと考えています。

また、ここ3年間は新型コロナウイルス感染症に対応した診療体制を構築することを最優先に行い、1つの病棟を新型コロナウイルス感染症の専用病棟として運用してきました。新型コロナウイルス流行の影響は大きく、外来患者数はコロナ禍以前と比較し僅かに減少、一般病棟の入院患者数は大きく減少しており病院経営の立て直しは急務となっています。徐々に元の生活を取り戻しつつありますが、将来が見えにくく不安な気持ちを持つ職員も多いと思います。この難局を乗り切るためには、職員全員が同じ気持ちを持ち病院の目標を達成するよう努力することが重要と考えています。

皆様とは気心が知れている分、モノを言いやすいという面もあると思います。お気づきの点や改善案があれば、どうぞフランクにお話ください。よろしくお願いいたします。



～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

"「ふるとぶる」"

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

さて4月。2023（令和5）年度の始まりです。COVID-19も落ち着いて（きているはず…）少しずつwithからafterの世の中に移行していくことでしょう。当院では大きな変革を迎えるこの4月、です。新採用者の皆さんにとっても"就職"は人生において大きな意味を持つイベントですよね？ドキドキと不安、期待。様々な感情が緋い交ぜになったその気持ち。お察しいたします。

大きな変化が起こるときには、思考の硬化を避ける必要があると思っています。それまでに"イケてた"ことやルールが"イケなく"なるのです。そう、flexibleな（柔軟な）思考が必要なのです。大きな変化によって少し蹴寄せだったり負担がくるところが出てきます。そこにはrespectfulな（敬意を払う、丁寧な）説明やgratefulな（感謝している）気持ちをもつ必要があるでしょう。難しいかもしれないけれど、自分をtransformできる、そうtransformableな（変換できる、変形可能な）姿勢なら、なんでもadaptableな（順応性のある）感じで楽しくイケちゃうのでは？と思います。

「ful」は～に満ちた、「ble」は～できる、という意味を持つ接尾辞。こんなときには「ふるとぶる」。これで乗り切っていきましょう！

さて、突然ですが、このコラムでは最近の呼吸器診療のtopicsも紹介します。

今回は在宅ハイフローセラピー（＝高流量鼻カニューラ酸素療法）です。専用機器（図1A/B）で加温加湿した高流量の空気に酸素を混ぜ込んで専用の鼻カニューラ（図2）経由で患者さんに提供する酸

素療法のひとつ。酸素療法と、NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）の中間に位置するような呼吸管理デバイスです。昨年の4月から在宅酸素療法中のCOPD（慢性閉塞性肺疾患）で軽度のPaCO₂貯留がある患者さん限定で保険適応があります。当院ではこの治療に関して保険収載前から2つの多施設共同研究に参加しており、全国的にも経験豊富な施設のひとつです！導入した患者さんには期待通りの効果が得られています。患者さんにとっては不快感が少なくfeasibleな（実行可能な、見込みのある）呼吸管理デバイスであり、COPDだけでなく、他の疾患への拡がりも期待されている非常にhopefulな（有望な）治療です。ご興味あれば門脇までご連絡ください。

と呼吸器内科の宣伝までさせていただきましたこのコラム。

今年度も教育研修部は皆さんにとってhelpful（ヘルプフル）（役にたつ）かつvaluable（ヴァリュアブル）（有益な）でありたいと思います。

みんなで一緒にがんばっていきましょい！



図1A myAIRVO2：ティジン



図1B Lumis HFT
：フクダライフテック



図2 専用鼻カニューラ

医師紹介



きまち たけし
来海 壮志 脳神経内科医師

今年度より松江医療センター脳神経内科にて勤務させて頂くことになりました。神経難病の患者さんがより良い人生を送ることが出来るように、少しでも力になればと思います。よろしくお願い致します。

異動者紹介



さとう ともり
佐藤 友則
臨床検査技師長

国立療養所長島愛生園から異動してまいりました。初めての松江勤務となります。不安もありますが一日でも早く環境に慣れ、松江医療センターに貢献できるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願い致します。



いで たかし
井手 孝
栄養管理室長

柳井医療センターから異動してまいりました。栄養管理室の業務は患者様のお食事を扱う大切な仕事と考えております。1日でも早く病院に慣れ、患者様に喜んで頂ける食事が提供できるよう頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



いしくら としこ
石倉 登志子
副看護部長

南岡山医療センターより異動してまいりました。松江での勤務は初めてとなります。尊厳とその人らしさを大切に看護が提供できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



いわた じゅり
岩田 珠里
4階東病棟看護師長

岡山医療センターより異動してまいりました。

松江医療センターには8年ぶりに勤務させて頂くことになり嬉しく思います。

未熟ではありますが、自分にできることを精一杯させて頂く所存でございます。



ひらの かずこ

平野和子

手術室看護師長

鳥取医療センターから異動して参りました。松江医療センターでの勤務は4年ぶりとなります。患者さんやご家族の方々が安心して安全な看護が受けられるよう、スタッフと共に頑張っていきたいと思っています。宜しくお願い致します。



わたかべ ゆりこ

渡壁裕里子

3階病棟看護師長

福山医療センターより、看護師長昇任で参りました。松江は初めての場所で不安もありますが、早く慣れていきたいです。スタッフの皆さんとともに、患者さんにご家族に寄り添ったより良い看護を提供できるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



こばやし ひでし

小林英樹

事務部長

この度、賀茂精神医療センターより赴任しました事務部長の小林と申します。

当院での勤務は15年ぶりですが、外観を含め様々な所が変わっており驚く限りです。私も微力ながら尽力する所存ですので職員の皆様よろしくお願い致します。



すみはら ひろまさ

住原広政

経営企画室長

高松医療センターから異動してまいりました。島根県では初めての勤務となります。まだ右も左もわからない状況ではありますが、一日も早く病院に慣れ、良質な医療の提供に少しでも貢献できればと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



たけひさ けいいち

竹久啓一

庶務班長

呉医療センターから異動してまいりました庶務班長の竹久と申します。当院は6年ぶり2回目の勤務です。より良い病院運営に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



人生会議の大切さについて

～もしバナゲームを紹介します～

5階病棟看護師長 がん性疼痛看護認定看護師 堀江 千恵



人生の最終段階の医療・ケアについて、患者さんがご家族や医療従事者と事前に繰り返し話し合うプロセスのことをアドバンス・ケア・プランニングといいます。ご自分の意思や希望を伝え、大切な人と話し合い、理解してもらうことが必要ですが、人は誰しも心変わりするものであり、この話し合いは一度だけでなく、折に触れて継続して話し合っていくことが大切になります。みなさんはご家族でこの「もしものための話し合い」をしたことがありますか？縁起が悪いからと、このような「もしものための話し合い」は避けて通っていることが多いのではないのでしょうか。もしバナゲームとは、「もしものための話し合い＝もしバナ」をカードゲームによって行うものです。余命わずかの想定で、自分自身の価値観を考え、みんなで話し合うきっかけにすることが目的となります。米国法人が開発した「GO WISH GAME」を原版として、千葉県亀田総合病院の緩和ケアや地域・在宅医療に取り組む医師達が立ち上げた一般社団法人「iACP」が日本語翻訳・出版を行った「日本語版」です。ゲームをしながら、何気なく交わす会話や話し合いを通して、それぞれに大切にしたい価値観があることを知ったり、自分が大切に思っていることを再認識するきっかけになります。

実際のゲームについて説明していきます。

- ・ゲームの設定は
 - ：治療困難な病気で
 - ：生命の危機が迫っている時
 - ：あと半年から1年の命と言われたら…

あなたは何を大切にしたいですか？

- ・そして、ルールは
 - ：参加は自由
 - ：言いたくないことは言わない
 - ：他者への配慮



4人のプレイヤーを想定した場合

1.



2.



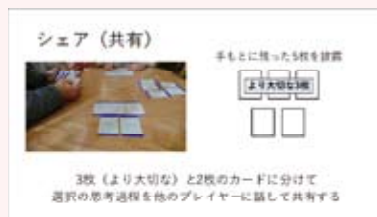
3.



4.



5.



最後にゲームを振り返り、グループ内で感想を話して共有します。

もしバナゲームはこうにして進めていきますが、このゲームは一回やったらおしまいではありません。何度やっても選ぶカードが違ってきます。その日の体調や季節、プレイヤー同士の関係性や雰囲気、自分のその時の立場や気持ち、年齢によっても違うと言われています。昨日選んだカードを、今日も選ぶかどうかはわかりません。意思是揺らぐものであり、揺らいでもよいのです。何を選択するかは、本当の最期まで決まらないかもしれません。そして、自分の思いを言葉にして伝えることはとても難しいことがゲームを通してわかります。だからこそ、繰り返し考え、ご家族や医療者と話し合っていくことが大切なのだと思います。

みなさんも「もしバナゲーム」をやってみませんか？

もし、興味や関心のある方がおられましたら、外来・病棟の看護師長までお声掛け下さい。カードの購入方法などに関しては、一般社団法人「iACP」のホームページをご確認下さい。

新

人

紹

介

看護師としての1年間を振り返って

1階病棟 看護師 有間 未陽



私は、令和4年4月から1階病棟で看護師として働いています。1階病棟は、筋ジストロフィーやALSといった神経筋難病の患者さんが入院されています。

私は、看護学生の時に、当院の実習で、筋ジストロフィーの患者さんを受け持たせていただきました。長期間療養生活を送る病棟で、趣味などを楽しまれる患者さんの生活を、病棟スタッフが支援しているのと感じ、患者さん一人ひとりを大切にする看護をしたいと考えて就職を希望しました。

そして、1階病棟で働き出して早1年が経ちました。神経筋難病の患者さんは、会話でのコミュニケーションが難しい方も多く、目の動きで文字盤を見る、身体の一部をわずかに動かすなど、一人ひとりそれぞれの方法でコミュニケーションをとっています。はじめは、患者さんが何を訴えようとしているのか理解するのに時間がかかっていました。しかし、患者さんに関わる中で、少しずつ理解できることも増えていき、理解できると患者さんの表情が和らぐのがみられ、とても嬉しく感じました。不安や緊張の毎日の中で、そのような患者さんの表情の変化がみられることや、患者さんの「ありがとう」「頑張って」という言葉に支えられ、励まされながら頑張ってきました。患者一人ひとりを大切にする看護をしたいという思いは、入職時よりも強くなったように感じています。また、少しずつ一人で行える看護技術も増えていき、自立していくにつれ、看護師としての責任もより一層強く感じるようになりました。

患者さんへの対応場面でうまくいかず悩むことも多くありましたが、できるまで見守ってくれる先輩方の丁寧な指導と支援により、今日まで乗り越えることができたと思っています。この春から看護師2年目になります。患者さん一人ひとりとじっくり向き合い、その人らしい生活を支援できるよう日々精進したいと思います。



3階病棟 『春まつり会』

療育指導室 保育士 山崎 貴子



3月9日、院内行事「春祭り会」を行いました。今回のテーマは、「全国ツアー・四国へ行こう」でした。今年度は、国内ツアーをテーマに、全国いろいろな場所に出掛けましたが、今回はいよいよ今年度最後の行事という事で、締めくくりを飾る旅です。

まず始めに、昨年春からの一年間で出掛けた場所の振り返りを行いました。日本地図上の、出掛けた場所に、行事の時の写真を貼っていきました。皆生温泉、広島、仙台、大阪、北海道、東京ディズニーランド、そして先月の沖縄…振り返ってみると、北から南いろいろな場所に出掛け、楽しい体験を沢山しました。



そして、その後は、四国の4県からそれぞれご当地キャラクターが来てくれ、患者さんも4チームに分かれて、4県対抗自慢大会の始まりです。まず始めは高知県チームの魚釣りゲームです。カッオを始め、美味しい魚が沢山獲れる高知県。皆さん、いろんな魚を釣り竿で一生懸命に釣り上げ、釣れるととても嬉しそうでした。



次は香川県チームのうどんクイズ大会です。うどん県としても知られている香川県。うどんに関するいろいろなクイズに対して、チームで相談して○×で答えてもらいました。正解や不正解の結果に、皆さん大盛り上がりでした。



その次は、愛媛県の道後温泉体験です。愛媛で獲れる伊予柑など柑橘の香りのお湯に浸したホットタオルを、お一人ずつ手に当てて、温泉気分を味わって頂きました。しばらく温かい心地良さと良い香りを楽しんで頂けたのではないかと思います。

そして最後は徳島県の阿波踊りです。笠をかぶって「エライヤッチャ、エライヤッチャ、ヨイヨイヨイヨイ」と、楽しい掛け声と共に、手足を動かして踊ったり、太鼓を叩いたりしながら、皆さん楽しそうに阿波踊りの雰囲気を楽しんでおられました。



3月になり、日に日に暖かい春の訪れを感じる今日この頃、外のポカポカ陽気を感じながら、利用者さんと職員みんなが楽しい春の行事を楽しむ事が出来たのではないかと思います。



人事異動

発令月日	事 項	職 名	氏 名	備 考
3月31日	辞 職	院長	井 岸 正	
3月31日	辞 職	診療部長	中 野 俊 也	
3月31日	辞 職	診療部長	荒 木 邦 夫	
3月31日	辞 職	小児科医師	松 村 涉	
3月31日	辞 職	栄養管理室長	伊 東 陽 子	
3月31日	定年退職	臨床検査技師長	柿 木 良 三	
3月31日	定年退職	看護師長	中 田 早 苗	
3月31日	定年退職	看護師長	柳 浦 京 子	
3月31日	定年退職	看護師長	古 門 千代美	
4月1日	昇 任	企画課長	黒 田 裕 介	米子医療センターへ
4月1日	昇 任	経理係長	岩 永 征 志	岡山医療センターへ
4月1日	昇 任	主任栄養士	今 津 健 一	鳥取医療センターへ
4月1日	昇 任	副理学療法士長	安 川 達 哉	関門医療センターへ
4月1日	昇 任	副看護部長	前 田 由紀子	賀茂精神医療センターへ
4月1日	昇 任	副看護師長	濱 厚 志	岡山医療センターへ
4月1日	昇 任	副看護師長	豊 島 夕 子	米子医療センターへ
4月1日	配 置 換	副診療放射線技師長	池 野 順 雄	岡山医療センターへ
4月1日	配 置 換	事務部長	前 田 悟	岡山医療センターへ
4月1日	配 置 換	庶務班長	森 谷 伸 明	呉医療センターへ
4月1日	昇 任	院長	古 和 久 典	当院副院長から
4月1日	昇 任	副院長	池 田 敏 和	当院統括診療部長から
4月1日	昇 任	副診療放射線技師長	赤 堀 亮	米子医療センターから
4月1日	昇 任	生理学主任	松 本 結 花	米子医療センターから
4月1日	昇 任	主任栄養士	生 田 里 奈	米子医療センターから
4月1日	昇 任	副理学療法士長	西 川 準	浜田医療センターから
4月1日	昇 任	主任児童指導員	松 原 未 歌	鳥取医療センターから
4月1日	昇 任	看護師長	岩 田 珠 里	岡山医療センターから
4月1日	昇 任	看護師長	渡 壁 裕里子	福山医療センターから
4月1日	昇 任	経営企画室長	住 原 広 政	高松医療センターから
4月1日	配 置 換	臨床検査技師長	佐 藤 友 則	長島愛生園から
4月1日	配 置 換	栄養管理室長	井 手 孝	柳井医療センターから
4月1日	配 置 換	理学療法主任	森 岡 真 一	広島西医療センターから
4月1日	配 置 換	副看護部長	石 倉 登志子	南岡山医療センターから
4月1日	配 置 換	看護師長	平 野 和 子	鳥取医療センターから
4月1日	配 置 換	事務部長	小 林 英 樹	賀茂精神医療センターから
4月1日	配 置 換	企画課長	小 山 敦 史	当院管理課長から
4月1日	配 置 換	管理課長	石 橋 融	当院経営企画室長から
4月1日	配 置 換	庶務班長	竹 久 啓 一	呉医療センターから
4月1日	配 置 換	経理係長	森 田 玲 奈	岡山医療センターから
4月1日	採 用	脳神経内科医師	来 海 壮 志	

地域医療連携室だより第50号

2023 年 4 月

気胸ホットラインについては、**平日時間内**
に対応させていただきます。

☎ 0852-21-6131（代表）または
0852-24-7671（地域医療連携室）



新年度を迎え

新しいメンバーに変わりましたのでお知らせいたします。

松江医療センター地域医療連携室メンバー紹介

地 域 医 療 連 携 室 室 長：池田敏和副院長

地 域 医 療 連 携 室 係 長：田村浩子

地域医療連携室副看護師長：西田明美

地 域 医 療 連 携 室 看 護 師：古畑雄子・田中祐佳・菅清美・田邊沙奈恵

医 療 ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー：松本昌広・糸賀咲



神経難病の療養介護サービス利用や神経難病・呼吸器疾患の相談やお問い合わせは、上記連絡先をお願いいたします。

外 来 診 療 表

お気軽にご相談下さい

令和5年4月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専 門 領 域
呼吸器内科		岩 本(初)	西 川(初)	木 村(初)	門 脇(初)	池 田(初)	【呼吸器内科】 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【副院長、統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
		西 川	小 林	岩 本		木 村	
			門 脇	池 田	坪 内	小 林	
循環器内科						生 馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
脳神経内科 (予約優先)	中 島 (完全予約制)	古 和	深 田	足 立 中 野	交替制		
	来 海	下 山		細 田			【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 細田 義人 下山 良二 深田 育代 中野 俊也 来海 壮志 【名譽院長】脳神経内科 (完全予約制) 【院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科
呼吸器外科	目 次		目 次			目 次	
消化器内科	法 正						
小児科	発 達 専門外来	久保田 (予約)	齋 田 (予約)	齋 田 (予約)	久保田 前 垣 (第2木曜のみ) (予約)	齋 田 (予約)	【呼吸器外科】 目次 裕之 呼吸器外科・一般外科 【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 前垣 義弘 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	予防接種		(予約)				
麻酔科	腰痛外来			西 村 (予約)			【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
特 殊	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【消化器内科】 法正 恵子 消化器内科領域
外 来	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				
	喘息 アレルギー外来					池 田 (予約)	診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 地域医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 地域医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	咳嗽外来					池 田 (予約)	
来	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		Matsue Medical Center
	アスベスト 外来		(予約)	(予約)	(予約)		
その他	もの忘れ外来			深 田			
	セカンド オピニオン外来	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	

特 殊 外 来	肺 が ん 検 診	診 療 日：毎週月～金曜日 15：00～17：00（要予約） 内容と特色：ペリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	診 療 日：毎週木曜日 14：00～16：00（要予約） 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息 切 れ 外 来	診 療 日：毎週火曜日 13：00～15：00（要予約） 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘 息 アレルギー外来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢 性 咳 嗽 外 来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁 煙 外 来	診 療 日：毎週木曜日 10：00～12：00（要予約） 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診 療 日：毎週火・水・木曜日 8：30～11：00（要予約） 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神 経 難 病 外 来	診 療 日：毎週火・木曜日 9：00～12：00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小 児 科 発 達 専 門 外 来	診 療 日：毎週月～金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
その他	腰 痛 外 来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。
	セ カ ン ド オピニオン外来	診 療 日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。